

住居

地方自治体や学校が運営する学生寮もありますが、留学生の約75%は民間の宿舍やアパートに住んでいます。合格通知を受け取ったら、すぐに住居の情報収集をしましょう。情報収集の方法としては、①学校の留学生担当窓口、②インターネット、情報誌、③自分が住みたい地域にある不動産屋などがあります。

学生寮

メリット

- ・経費が抑えられる
- ・家電製品等を自分で買う必要が少ない

デメリット

- ・居室数に限りがあるので、希望者全員が入居できるわけではない
- ・門限や起床時間等の規則がある
- ・台所、トイレ、お風呂が共同

ワンポイントアドバイス

住居の費用（月額）の目安

学生寮：寮費 28,000 円
(JASSO 東京日本語教育センターの場合)

アパート：駅の人気や駅からの距離、築年数などによって大きく異なります。地方では3~4万円程度でも探せますが、東京でアパートを探すときは、6万円以内で探すことが一つの目安となります。

ワンポイントアドバイス

ゴミ出し

日本ではゴミ捨てに厳しいルールがあり、これを守らないため、近隣住民とトラブルになることがあります。ゴミを分別し、指定の場所や時間に出しましょう。



アパート

メリット

- ・自分の好きなように生活リズムを組み立てられる
- ・金銭感覚が身に付く

デメリット

- ・敷金（家賃数ヶ月分。保証金と呼んでいる地域もあります。）、礼金、仲介手数料等を前払いする場合はほとんどです
- ・賃貸契約の手続が煩雑である
- ・家具・家電製品等を一から揃えなければならない

連帯保証人

日本では、アパートを借りる際、一般的に「連帯保証人」が必要となります。あなたが期日までに家賃を支払わなかったり、部屋の設備を壊しても修理費を支払わなかったりした場合、家主は、「連帯保証人」に支払いを要求します。日本に知り合いが少ない留学生のために、学校関係者（機関・教職員）等が連帯保証人を引き受けてくれる制度もあります。また、「保証料」を支払う契約をすることによって、「連帯保証人」が不要になることもあります。

※留学生住宅総合補償

公益財団法人 日本国際教育支援協会が運営しており、万一の火災等に対する備えと、入居のための保証人に迷惑がかけられないようにするための制度です。この制度が利用できるかは、在籍する学校か入学予定の学校の窓口にご相談ください。

部屋探しのポイント

- ①家賃、初期費用は？
- ②学校からの距離・通学時間は？
- ③部屋の広さ、設備は？
- ④周辺環境の利便性（駅が近い、買い物しやすさ等）は？

